

企業広報実務講座 全6回 (第4期) ~6カ月で基礎と実務をマスター~

定員
15人

日程と内容

- 講座趣旨: 企業広報でおさえておくべき、実務上のポイントを全6回の講義と演習で習得する。
- 開催日程: 下記開催日を参照のこと。各回とも14:30開場、講義は15:00~17:00
- 講座構成: 講義および演習をそれぞれ1時間
- 対象: 広報の担当部署に着任したばかりの方 / 広報知識や実務の確認をしたい方
- 定員: 15人
- 会場: カンファレンススクエアエム+プラス 会議室 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル 10F

回	開催日	講座テーマ	講座概要	講座のポイント	内 容
1	4/17 火	企業広報概論	経営と広報	会社経営の根底にある企業理念と密接にかかわる企業広報の役割や位置付けを確認する。企業広報の目的は本質的に多様なステークホルダーとの関係性のマネジメントにあることを学ぶ。	現代社会において企業は社会との共生なしには存続することはできず、ステークホルダーとの良好な関係の形成、維持、発展をめざすコミュニケーションは重要な経営機能の一部であることを理解する。
			企業とステークホルダー		企業には、多様なステークホルダーが存在していること、ならびに広報活動はステークホルダーの特性を考慮して、ステークホルダーを分けて計画、実施すべきことを確認する。 [演習] 多様なステークホルダーについて特性の理解のもとに、それぞれに対してどのようなツール、方法を活用して広報的な取組みを行えばよいか考える。
2	5/17 木	企業広報における戦略・計画の立案	経営と広報戦略、企業広報活動の種類	企業が経営目的を達成するために必要な広報戦略・計画の立案法について学ぶ。	経営の支援機能として広報が果たすべき役割を確認する。経営目的の実現に貢献する広報と経営意思に基づかない危機的事態に対応する広報があることを理解する。
			広報戦略・計画の立案法		現状分析と確認、コミュニケーション上の課題と目的の設定、具体的な施策の立案、実施、レビューといった一連の流れについて理解する。 [演習] 環境分析から課題設定、戦略・計画の立案という流れを持つ広報計画の立案におけるポイントを考える。
3	6/21 木	企業広報において重要性を増す インターナル・コミュニケーション	インターナル・コミュニケーションの概念	企業広報におけるインターナル・コミュニケーションの概念や位置づけ、その目的などについて理解を深める。	企業広報におけるインターナル・コミュニケーションの位置付け、目的、役割について理解すること。特に、インターナル・コミュニケーションは企業文化の醸成にとって、重要である点について認識する。
			インターナル・コミュニケーションの手法やメディア		インターナル・コミュニケーションの基本的な手法、メディア(ツール)について学び、その特性を生かした活用について考える。 [演習] 社内の活性化、従業員のモチベーションの向上などの課題設定のもとに、インターナル・コミュニケーションをどのように設計したらよいか、そのポイントを考える。
4	7/19 木	メディアリレーションズ	メディアリレーションの作り方、活かし方	記者・編集者とのコミュニケーションやニュースリリース作成のコツなどメディアリレーションのポイントを学ぶ。	記者・編集者と信頼関係を築くうえで押さえておかなければならないことを確認する。
			ニュースリリース作成の基礎知識		記者の目に留まり、内容を理解してもらい、記事として取り上げてもらえるニュースリリースのタイトル作成について基本事項を確認する。 [演習] 設定された課題のもとに、伝えたいことが一目でわかるニュースリリースのタイトル(見出し)を考える。
5	8/23 木	企業広報と危機管理	危機管理広報の考え方	危機的事態の発生時に広報担当者が備えておくべき心構えや基本的な対応のポイントを学ぶ。	危機発生時における広報の重要な役割は、レピュテーション等の無形な価値の棄損を最小化するとともに、社会的な信用の回復への貢献であることを確認する。
			緊急記者会見の実施		危機発生時に緊急記者会見が何故必要なのか、会見前にチェックすべきこと、会見で伝えるべきこと、注意すべきことを確認する。 [演習] 日常的に発生しやすい事件・事故を取り上げ、緊急事態が発生したら、企業として、広報としてどう対応するか、そのポイントを考える。
6	9/20 木	これからの企業広報と経営倫理	経営倫理、コンプライアンス、CSRの歴史と変遷	現代社会における企業経営では、経営倫理、コンプライアンス、CSRの重要性が高いことを確認し、広報活動において留意しておかねばならないポイントを学ぶ。	日本において、企業が経営倫理、コンプライアンス、CSRにどのように取り組んできたかを確認するとともに、今後のグローバルな方向性であるSDGsにどのように取り組むかなどの企業の新しい対応を理解する。また、GRIやISO26000、ESGなどグローバルな事項に関し広報担当者が常識的に知っておくべき内容について確認する。
			広報担当者が考慮しておくべき法令		著作権法、商標法、金商法(金融商品取引法)など、広報担当者が知っておくべき法律と要点を確認する。 [演習] 社会的な課題の解決と企業の競争力向上を同時に実現する経営戦略であるCSVの考え方を意識し、提示した課題に基づく広報計画の立案について考える。

経験豊富な講師陣による きめ細かいアドバイスとサポート

本講座は、企業広報の現場で実務経験を積んできた講師陣ならではの、きめ細かいアドバイスを受けられるのが特徴です。知識を単に提供するのではなく、実務における勘所、業務遂行の肌感覚や腐心するポイントを理解していただけるよう構成しています。受講期間中は受講者が実務に役立てて成果を得られるようサポートします。

●参加者の声はウェブサイトをご参照ください。 <http://argo-ms.com/seminar/>



第4期 担当講師

■ 真部 一善 氏

オフィス・マーベリック代表／広報コンサルタント
外資IT企業、国内金融企業、PR会社にお

■ 風間 眞一 氏

■ アルゴマーケティングソリューションズ メディアリレーションズチーム

参 加 要 領

- 受講料 ... 全6回 **30,000**円 (消費税込み: 32,400円)
- お申し込み方法 ... ファックスまたはメールでお申し込みください。
事務局から受講料の請求書をお送りいたします。お振込みにより、受付完了となります。
- 締め切り ... 定員(15人)に達し次第、受付終了となります。
- 事務局(主催) ... 株式会社アルゴマーケティングソリューションズPRコンサルティング部
TEL: 03-3798-2172 FAX: 03-6809-3969
メール: prc@argo-ms.com

(注意事項) *欠席の場合は返金いたしかねます。 *次期で振り替え受講(無料)は可能です。

会社名	
所属・役職名	
会社所在地	〒
フリガナ	
お名前	
TEL	
FAX	
E-mail	